

「大阪市教育振興基本計画改訂（素案）」に意見表明

～そんぽデジタル・マイ・タイムラインやぼうさい探検隊等の活用を提案～

日本損害保険協会近畿支部委員会（委員長：東口 嘉仁・三井住友海上火災保険株式会社 執行役員 関西地区担当）では、2025 年 10 月 10 日付で大阪市から公表された「大阪市教育振興基本計画改訂（素案）」に関するパブリックコメントに対し意見表明を行いました。

当支部では、今後も行政や関係機関と協力し、地域の防災・減災に資する取組を推進していきます。

【パブリックコメントの概要】

大阪市教育振興基本計画は、本市教育の基本的な目標や、目標達成のための施策のあり方などを定めた基本計画であり、現行計画が令和 7 年度までの施行期間となっています。社会の情勢やこれまでの本市教育の取組の成果と課題等を踏まえ、令和 22 (2040) 年以降の社会を見据え、現行計画の後期取組として改訂するにあたり、大阪市総合教育会議における検討内容等も踏まえ、「大阪市教育振興基本計画改訂（素案）」を作成しました。

【意見内容の概要】

<35 ページ>

「自然災害が多発する現在において、「地域」「家庭」「学校」の連携による組織的な対応で減災効果を高め区役所や地域をはじめとした関係機関等との連携の在り方を工夫し、学校や地域、子どもたちの実情に応じた防災・減災教育の取組をより充実させる必要があります。」という点について賛同する。

具体的な防災・減災教育にあたっては、日本損害保険協会において様々なコンテンツ（*1）を用意しているので、その活用について検討いただきたい。

（*1）

- ・「動画で学ぼう！ハザードマップ」：ハザードマップをもとに地域の自然災害リスクを知り、備えや対策を行うためのヒント・アドバイスをまとめた e ラーニングコンテンツ。
- ・「そんぽデジタル・マイ・タイムライン」：災害時における家族との避難行動を計画するためのデジタルツール。
- ・「ぼうさいダック」：安全・安心の「最初の第一歩（ファースト・ムーヴ）」を、子どもたちが、実際に身体を動かし、声を出して遊びながら学ぶことができる、幼児向け防災教育用カードゲーム。

（ご参考：[そんぽ防災 Web](#) | [日本損害保険協会](#)）

<36 ページ>

「児童生徒が被害者・加害者とならないため、交通ルールを遵守することや、周囲の状況に注意して通行する必要があることを、関係機関と連携し指導します。また、毎年「安全マップ」を見直し、学校や保護者、地域ボランティア等が校区の危険箇所における注意すべきポイントについて、共通理解を図るとともに、「大阪市通学路安全プログラム」に基づく合同点検を通じて、交通事故やその他の事故、犯罪被害等の未然防止につなげ、児童生徒の安全・安心な教育環境の実現をめざします。」という点について賛同する。

なお、児童生徒においては通学等で自転車を利用する機会が多いと思われるため、万一の事故に備える自転車保険への加入義務（大阪府自転車条例）について記載いただきたい。

また、「安全マップ」の作成にあたっては、日本損害保険協会が提供している「ぼうさい探検隊」プログラム（*2）を活用いただきたい。

（*2）

- ・「ぼうさい探検隊」とは、小学生が楽しみながらまちや地域を探検し、防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、地域安全マップにまとめる実践的な安全教育プログラム。
- ・「ぼうさい探検隊」活動を推進するために、小学生が作成した地域安全マップを全国から募集し、毎年「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」を開催し、特に優れた作品には、賞や記念品を贈呈している。

（ご参考：[「ぼうさい探検隊」で地域安全マップを作ろう！](#) | [日本損害保険協会](#)）